



2023年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年7月26日

上場会社名 蝶理株式会社 上場取引所 東
 コード番号 8014 URL <https://www.chori.co.jp>
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 先瀆 一夫
 問合せ先責任者(役職名) 経営管理部長 (氏名) 河村 泰孝 (TEL) 03-5781-6201
 四半期報告書提出予定日 2022年8月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第1四半期の連結業績(2022年4月1日~2022年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	81,906	35.0	3,213	25.4	3,658	27.2	2,298	1.4
2022年3月期第1四半期	60,671	23.8	2,562	—	2,876	—	2,267	—

(注) 包括利益 2023年3月期第1四半期 3,783百万円(25.5%) 2022年3月期第1四半期 3,014百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	93.41	—
2022年3月期第1四半期	92.16	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第1四半期	144,011	67,808	47.1
2022年3月期	134,121	65,096	48.5

(参考) 自己資本 2023年3月期第1四半期 67,790百万円 2022年3月期 65,055百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	42.00	—	42.00	84.00
2023年3月期	—	—	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	50.00	—	50.00	100.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日~2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	330,000	16.2	11,500	23.3	12,000	16.8	8,200	20.4	333.21

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) ー、除外 一社(社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2023年3月期1Q	25,303,478株	2022年3月期	25,303,478株
2023年3月期1Q	697,800株	2022年3月期	694,494株
2023年3月期1Q	24,608,141株	2022年3月期1Q	24,600,195株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間においては、東南アジアや欧米州を中心に、新型コロナウイルス感染症の拡大防止策の浸透等により経済活動の回復に向けた動きが見られました。一方で、中国におけるゼロコロナ政策やロシアのウクライナ侵攻による世界的なサプライチェーンの混乱は継続しています。日本経済は、新型コロナウイルスワクチン接種が浸透したこと等により、社会経済活動の回復に向けた動きが見られましたが、原材料価格の高騰や急激な円安を主因として幅広い分野で値上げが進行しており、先行き不透明な事業環境が継続しております。

このような状況下、当社グループは、2022年度を最終年度とする3カ年の中期経営計画「Chori Innovation Plan 2022」に基づき、激変する社会・経済環境へ即応すべく、リスク管理を始めとした「守り」の施策を一層徹底する一方、持続的成長のための基本戦略を推進しております。

当第1四半期連結累計期間における連結業績は、好調な化学品事業を中心に堅調に推移し、前年同期比増収増益となりました。売上高は前年同期比35.0%増の819億6百万円となりました。利益面では、営業利益は前年同期比25.4%増の32億13百万円、経常利益は前年同期比27.2%増の36億58百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比1.4%増の22億98百万円となり、経常利益および親会社株主に帰属する四半期純利益は共に四半期最高益を更新しました。

(単位：百万円)

	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	増減額	前年同期比 (%)
売上高	60,671	81,906	21,234	35.0
営業利益	2,562	3,213	651	25.4
経常利益	2,876	3,658	781	27.2
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,267	2,298	31	1.4

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

① 繊維事業

(単位：百万円)

	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	増減額	前年同期比 (%)
売上高	21,046	31,504	10,458	49.7
経常利益	870	757	△112	△13.0

当セグメントにおきましては、株式会社S T X（旧株式会社スミテックス・インターナショナル。2021年度第2四半期より連結損益に取り込み。）の連結子会社化等により、売上高は、前年同期比49.7%増の315億4百万円となりました。利益面においては、原材料価格の高騰や急激な円安に伴うコストアップの影響等を受け、セグメント利益（経常利益）は、前年同期比13.0%減の7億57百万円となりました。

② 化学品事業

(単位：百万円)

	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	増減額	前年同期比 (%)
売上高	38,724	48,865	10,141	26.2
経常利益	1,784	2,536	751	42.1

当セグメントにおきましては、全般的に堅調に推移しました。特に無機化学品及びファインケミカル分野が好調に推移したことにより、売上高は、前年同期比26.2%増の488億65百万円となり、セグメント利益（経常利益）は、前年同期比42.1%増の25億36百万円となりました。

③ 機械事業

(単位：百万円)

	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	増減額	前年同期比 (%)
売上高	883	1,515	632	71.5
経常利益又は経常損失(△)	239	△19	△259	—

当セグメントにおきましては、売上高は欧州、中米向け販売が好調に推移したことにより、前年同期比71.5%増の15億15百万円となりましたが、利益面につきましては、アラブ首長国連邦の取引先に対し、貸倒引当金を追加計上したこと等により、19百万円のセグメント損失（経常損失）（前期同期は2億39百万円のセグメント利益（経常利益））となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、1,440億11百万円となり、前連結会計年度末に比べ98億90百万円増加しました。これは主に、受取手形及び売掛金が50億66百万円、商品及び製品が16億5百万円、現金及び預金が15億56百万円増加したことによるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債は、762億3百万円となり、前連結会計年度末に比べ71億78百万円増加しました。これは主に、短期借入金が59億75百万円、支払手形及び買掛金が13億36百万円増加したことによるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は、678億8百万円となり、前連結会計年度末に比べ27億11百万円増加しました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により22億98百万円、為替換算調整勘定が12億52百万円増加し、配当金の支払いにより10億33百万円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年4月28日に公表しました業績予想値に変更はありません。

なお、業績予想につきましては、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,242	13,798
受取手形及び売掛金	74,272	79,338
商品及び製品	17,346	18,951
仕掛品	1,045	1,001
原材料及び貯蔵品	4	2
未着商品	3,704	4,232
その他	6,220	7,075
貸倒引当金	△964	△1,256
流動資産合計	113,871	123,143
固定資産		
有形固定資産	1,964	2,144
無形固定資産		
のれん	1,053	925
顧客関連資産	993	968
その他	401	559
無形固定資産合計	2,449	2,453
投資その他の資産	15,836	16,270
固定資産合計	20,249	20,868
資産合計	134,121	144,011
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	52,213	53,550
短期借入金	4,944	10,919
1年内返済予定の長期借入金	113	113
未払法人税等	2,028	1,316
賞与引当金	916	427
関係会社整理損失引当金	42	42
その他	5,203	6,158
流動負債合計	65,461	72,527
固定負債		
長期借入金	245	217
繰延税金負債	843	861
退職給付に係る負債	2,366	2,341
その他	107	256
固定負債合計	3,562	3,676
負債合計	69,024	76,203

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,800	6,800
資本剰余金	1,799	1,799
利益剰余金	54,804	56,059
自己株式	△689	△690
株主資本合計	62,714	63,969
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,221	1,333
繰延ヘッジ損益	285	398
為替換算調整勘定	917	2,170
退職給付に係る調整累計額	△84	△81
その他の包括利益累計額合計	2,340	3,820
非支配株主持分	41	18
純資産合計	65,096	67,808
負債純資産合計	134,121	144,011

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年6月30日)
売上高	60,671	81,906
売上原価	53,853	72,778
売上総利益	6,818	9,127
販売費及び一般管理費	4,256	5,914
営業利益	2,562	3,213
営業外収益		
受取利息	63	70
受取配当金	186	110
持分法による投資利益	43	94
為替差益	—	263
債務勘定整理益	13	8
雑収入	104	54
営業外収益合計	411	601
営業外費用		
支払利息	22	33
手形売却損	25	80
為替差損	25	—
雑支出	22	42
営業外費用合計	96	156
経常利益	2,876	3,658
特別利益		
関係会社整理益	—	7
投資有価証券売却益	0	3
固定資産売却益	316	2
関係会社株式売却益	18	—
特別利益合計	336	13
特別損失		
投資有価証券評価損	—	8
固定資産処分損	0	2
ゴルフ会員権評価損	—	2
関係会社整理損	15	—
特別損失合計	15	13
税金等調整前四半期純利益	3,197	3,658
法人税、住民税及び事業税	930	1,205
法人税等調整額	△1	152
法人税等合計	928	1,357
四半期純利益	2,268	2,300
非支配株主に帰属する四半期純利益	0	1
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,267	2,298

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年6月30日)
四半期純利益	2,268	2,300
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△33	112
繰延ヘッジ損益	△79	112
為替換算調整勘定	700	1,034
退職給付に係る調整額	4	2
持分法適用会社に対する持分相当額	153	221
その他の包括利益合計	746	1,483
四半期包括利益	3,014	3,783
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,012	3,779
非支配株主に係る四半期包括利益	1	4

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	繊維事業	化学品事業	機械事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	21,046	38,724	883	60,654	17	60,671	—	60,671
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	112	112	△112	—
計	21,046	38,724	883	60,654	129	60,784	△112	60,671
セグメント利益	870	1,784	239	2,894	11	2,906	△29	2,876

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、事務処理受託等の各種役務提供を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△29百万円は各報告セグメントに配分していない全社損益であります。全社損益は、報告セグメントに帰属しない財務関連の損益等であります。

3. 報告セグメント、その他の事業セグメントのセグメント利益及び調整額の合計は、四半期連結損益計算書の経常利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

(子会社の取得による資産の著しい増加)

当第1四半期連結会計期間において、株式会社スミテックス・インターナショナル(現・株式会社STX)の株式を取得し、連結の範囲に含めたことにより、前連結会計年度の末日に比べ、「繊維事業」のセグメント資産が9,652百万円増加しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「繊維事業」セグメントにおいて、株式会社スミテックス・インターナショナル(現・株式会社STX)の株式を取得し、子会社化したことにより、のれんが発生しております。

なお、第3四半期連結累計期間において、暫定的な会計処理の確定に伴い、のれんの金額は1,004百万円となりました。

当第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	繊維事業	化学品事業	機械事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	31,504	48,865	1,515	81,886	20	81,906	—	81,906
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	112	112	△112	—
計	31,504	48,865	1,515	81,886	132	82,018	△112	81,906
セグメント利益 又は損失 (△)	757	2,536	△19	3,274	15	3,290	367	3,658

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、事務処理受託等の各種役務提供を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額367百万円は各報告セグメントに配分していない全社損益であります。全社損益は、報告セグメントに帰属しない財務関連の損益等であります。

3. 報告セグメント、その他の事業セグメントのセグメント利益又は損失及び調整額の合計は、四半期連結損益計算書の経常利益と一致しております。